

2回目の授業研究！(9月18日水) 6年「馬込の魅力！マシマシで！」

テーマ

児童が主体的に話し合いをするためには？



担任の思い

児童同士で前時の活動を振り返ったり、本時の活動やめあてを考えたりする活動を**日々繰り返す**ことで、**主体性が伸びる**のではないかと？

研究の手だて(協議会の視点)



① 児童の思いや願いを重要視した授業の構成

各授業の導入で必ず前時の振り返りを行い、前時や本時の学習内容、めあてや流れなどを児童が考える時間を設定する。この時間を積み重ねることで、学習内容をより主体的に進められるようにする。

→ 児童の主体性**アップ**！



② 教師が論点をわかりやすい言葉にするファシリテート

中後半に児童の発言意欲が低下したり、一部の児童だけで授業が進んだりしてしまった際に教師が論点を明確にすることで児童の共通理解を促し、持続的に話し合い活動に取り組めるようにする。

→ 児童の主体性**キープ**！



本時の方向性



馬込のまちってどんなまちか話し合いたい！

「集めた情報を整理しながら、まとめよう！」